Biz Clip調査レポート（第17回）

社員のPC、Windows10アップデート状況

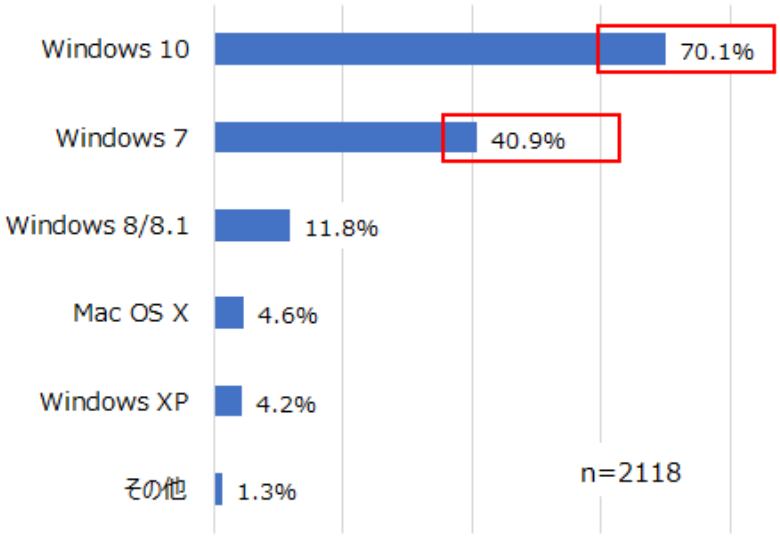
2019.07.17

企業における使用パソコンのOS更改状況、また日々のパソコン利用やOSアップデートに対し、どんな意識を持っているか。その実態について調査を行った。調査は、日経BPコンサルティングのアンケートシステムAIDAにて、同社保有の調査モニター3754人を対象に実施した。

7割がWindows10。Windows7使用も4割

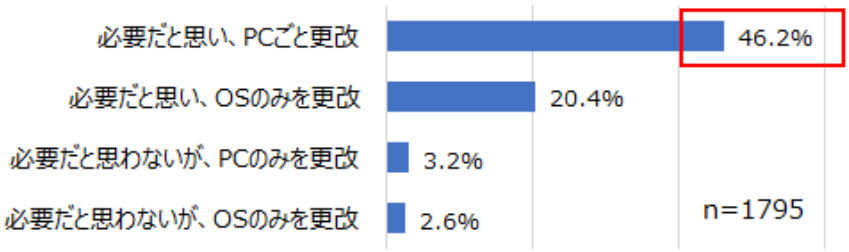
勤務先で使用するパソコンのOSを聞いたところ、「Windows10」と回答したのは70.1%だった。まだ「Windows7」を使用しているのは40.9%。「Windows 8/8.1」使用も11.8%存在した（図1）。

【図1 会社で使用するパソコンのOSのバージョン(MA)】

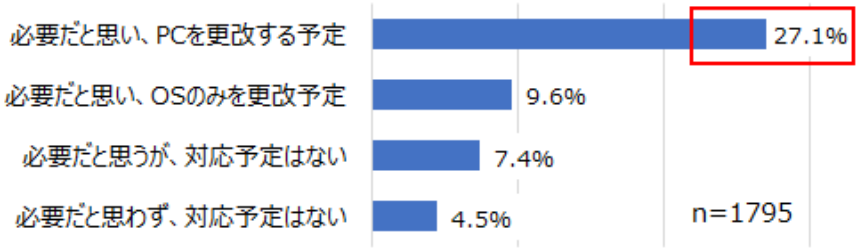


WindowsユーザーにWindows10への移行に関し聞いたところ、Windows10ユーザーは、「必要だと思い、PCごと更改」が46.2%と最も多く、「必要だと思い、OSのみを更改」（20.4%）の倍以上のポイントとなった（図2-1）。また、Windows10にまだ移行していないWindowsユーザーは、「必要だと思い、PCを更改する予定」が27.1%で、「必要だと思い、OSのみを更改予定」より20ポイント以上高い結果となった（図2-2）。Windows10への移行はパソコンごと新しくする傾向が強く、特にこれからWindows10へ移行しようと思っている層は、OSのみの更改を予定する層よりも圧倒的に多いのが分かった。対応予定がない層も、「必要だと思うが予定なし」が7.4%、「必要だと思わず予定もなし」が4.5%と一定数存在した。だがWindows10への移行については91.9%が「必要」と回答した結果から見ると、ほとんどのWindowsユーザーが移行の必要性を感じているといえる（図3）。

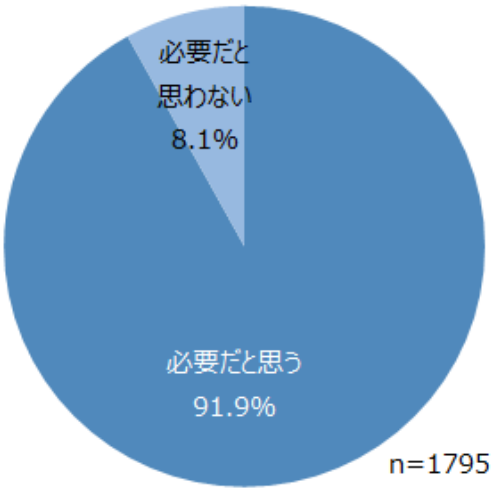
【図2-1 使用するパソコン・OSの更改の状況（Windows10ユーザー）】



【図2-2 使用するパソコン・OSの更改の状況（WindowsXP/7/8/8.1ユーザー）】



【図3 Windows10への移行は必要だと思うか】



移行がまだなのは「サポートまで時間があるから」… 続きを読む